

広報

# かわごえ環境ネット

2023年3・4月号 No.190



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

小畔川の御伊勢橋付近の春風景です。この主手筋の桜並木は見事で、例年花見をする地元の人々で河川敷がいっぱいになりますが、この年はコロナ禍で少なめです。この川の両側には小畔水鳥の郷公園や御伊勢塚公園があり、自然豊かなレクリエーションゾーンになっています。(賀登環)

2:川越の生き物調査5年間 - その2

3:【報告】歳末まち美化活動(12月18日)

4:【コラム】自然を訪ねて(8)『自然再生の林を訪ねて - ふるさとの緑の復活を願い』

理事長コラム(1)『未来に向けた「川越市環境基本計画」「川越市環境行動計画」へ』

5:【参加者募集】春の里山自然観察&クリーン活動(4月29日土曜日開催)

6:かわごえ環境ネットからのお知らせ

7:会員からのお知らせ

8:イベントカレンダー(2023年3月1日~4月30日) / ボタニカルアート(3) キンラン(金蘭)

残したい川越の風景(8) 小畔川御伊勢橋付近の春風景(2022年4月6日撮影)



## 川越の生き物調査 5年間 — その2

### はじめに

市の「第三次川越市環境基本計画」及び「川越市緑の基本計画」が2016年に策定され、その中に市民参加による生き物調査が位置づけられました。かわごえ環境ネット自然環境部会は、2017年から環境政策課と協働して生き物調査に取り組んできて、2017年から2021年までの5年間の成果を昨年3月に冊子としてまとめました。そのダイジェストを昨年の広報かわごえ環境ネット2022年3・4月号(No.184)に掲載しましたが、今号は「その2」として、植物に関してご紹介します。

5年間の20,000件にのぼる報告のうち、12,000件が植物でした。種類数は834種でその内訳は表と図1の通りです。

### (1) 植物の分類

表 植物の分類(種数と割合)

分類	種数	%
絶滅危惧種	52	6
在来固有	39	5
史前帰化	75	9
一般種	388	46
植栽	84	10
外来7	116	14
外来特緊	5	1
その他外来	75	9

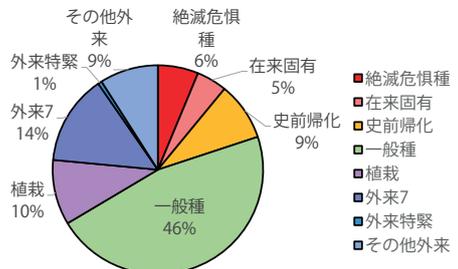


図1 植物の分類(割合)

- ①絶滅危惧種は52種で、おなじみのキンラン、ギンラン、キツネノカミソリなどです。
- ②在来固有は39種で、ヤマユリ、アズマネザサ、トチノキ、ウツギ、ノコンギク、ヨメナ、ヤマザクラ、カントウタンポポ、リンドウなどなじみのものが多いです。
- ③史前帰化は75種で、日本列島に人類が渡来した以降から歴史時代になる前に、海外から渡来したと推定される植物のことです。多くは農耕の開始以降にアジア大陸から渡来したと推定され、水田雑草などの人里植物や果樹、野菜などの農作物です。ヤブカンゾウ、イグサ、ツユクサ、スズメノテッポウ、エノコログサ、タガラシ、イヌタデ、ヒガンバナ等。
- ④植栽は84種で、川越にある植物は

量的にはほとんどが植栽、栽培種でしょう。それも樹木はほとんどが植栽です。野生種と言えるのは野鳥が実を運んできたウグイスカグラ、ガマズミ等でしょう。

⑤外来7(一般外来種)は116種で、植物調査であるほとんどの種類がこれに属します。シロツメクサ、アメリカフウロ、コハコベ、イヌコハコベ、ホオズキ、ワルナスビ、キキョウソウ、ブタクサ、コセンダングサなど。

⑥外来特緊(特定外来生物・緊急対策外来種)は5種:オオフサモ、アレチウリ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク、ナガエツルノゲイトウ。これらは、場所によっては大繁殖していて除去が困難な状況です。

⑦その他外来は75種で、メリケンカルカヤ、セイヨウカラシナ、アメリカアサガオ、オオブタクサ、アメリカセンダングサ、オオオナモミ、セイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウなど。これらも調査では繰り返し登場する常連で、「アメリカ〇〇」というのが多いです。

⑧一般種は388種で、上記のどれにも属さないのが一般種です。シダが30種ほど。アカマツ、タブノキ、コナラ、ショウブ、ホウチャクソウ、オニユリ、ノガリヤス、ササクサ、アシボソ、ススキ、アキカラマツ、ケヤキ、ムクノキ、タチツボスミレ、イヌガラシ等。

### (2) 植物種の分布

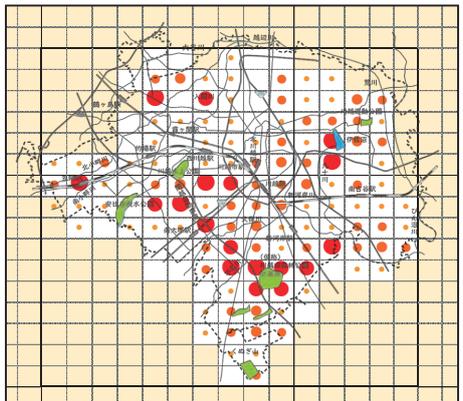


図2 メッシュコードごとの植物種の分布

図2はメッシュコードごとのおおよその植物種の分布を表したものです。大きな●は150種以上の場所で、伊佐沼周辺、「(仮称)川越市森林公園」計画地、池辺公園、川越水上公園、今福の雑木林、寺尾調節池、安比奈親水公園周辺などです。特に「(仮称)川越市森林公園」計画地は4つのメッシュにまたがっ

ていますが、合わせると435種に上り、絶滅危惧種も24種生息し、ほぼ川越市の半分の植物種を擁している重要なエリアです。

### (3) 川越版レッドデータブックを考える

川越には52種の絶滅危惧種がありますが、まだまだ開発志向の続く川越市では、普通種でもすでに生息地や個体数が激減しているものも多くあります。自然環境部会では在来固有、史前帰化、一般種の中から川越版の希少種の検討を始めました。現在、候補は50を超えています。来年度の提案をめざしています。

この広報がお手元に届くころには春一番の花たちが眠りから目覚めます。スプリングエフェメラルという下の写真のような植物は足早に花を咲かせ、5月ごろにはすべて姿を消します。どうぞ、生息地をお訪ねください。

(自然環境部会 賀登環)



アズマイチゲ 準絶滅危惧 (NT) (池辺公園)



アマナ 準絶滅危惧 (NT) (池辺公園、川越水上公園)



ヤマエンゴサク (川越水上公園)

【報告】歳末まち美化活動（12月18日）



開始時の参加者集合写真（本川越駅前交番前にて）

20年目の歳末まち美化活動

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、20年目の今年は12月18日（日）に実施しました。天気は快晴で風はありませんでした。

開催経過

9時30分に本川越駅前交番前に集合、参加者は69名でした。市民、かわごえ環境ネット会員、武州ガスと関係会社の方々、大東建託川越支店の方々など、2歳～80歳代の幅広い年代の参加者でした。

小瀬理事長の挨拶、集合写真の撮影（駅前交番のお巡りさんに撮影を依頼）、クリーン名人の渡辺利衛さんよりごみ収集の仕方とコースの説明の後、参加者は7コースに分か

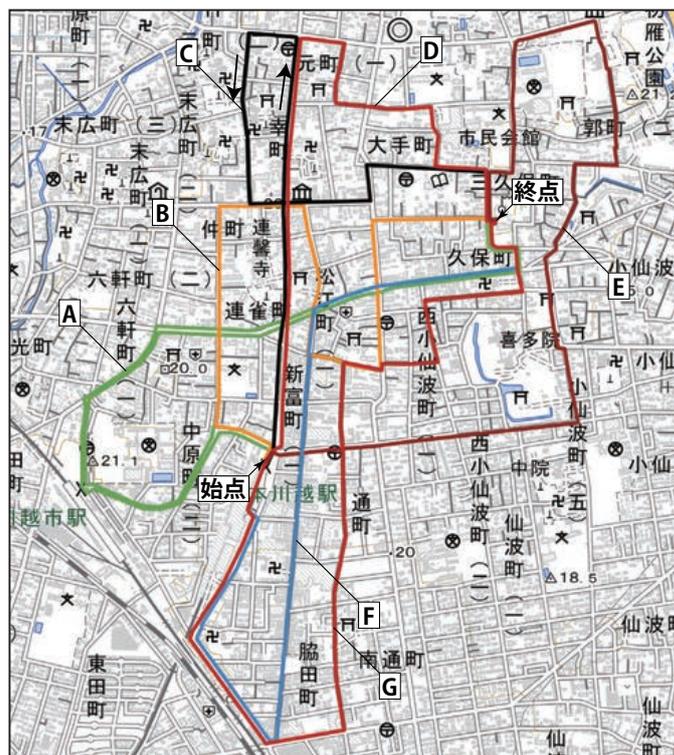
れクリーン活動を開始しました。

参加者はまち美化活動のゼッケンを付け、空き缶・紙くず・たばこなどを拾いながら、師走の市内中心部を回り、収集した「ごみ」を中央公民館で分別し解散しました。なお、参加者には会員のカンパで購入した川越の銘菓をお土産としました。

おわりに

ごみ拾いは、まち美化の効果とともに、歩行や屈伸を行うことにより、エクササイズ（exercise：英語で運動の意）の効果もあります。来年もふるって多くの方々のご参加を！！

（菊地三生）



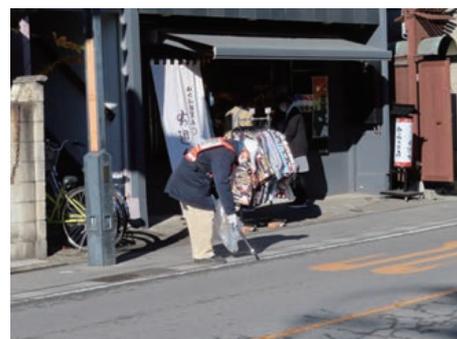
A～Gの7つのコース（地理院タイルに作図）



渡辺利衛さんよりごみ拾いの説明



本川越駅ペべ前に集合



側溝の蓋に挟まった吸いがらを拾う



中央通りでのごみ拾い



仲町交差点にて



中央公民館での分別作業

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (8) 自然再生の林を訪ねて — ふるさとの緑の復活を願い

自然再生の林での活動

「キツネノロウソクを見に来ませんか」6月初めの朝の電話。白秋の逢引の一節にある一度見たいと思っていたキノコだ。みんなで嗅いでみる。「やはり臭いね。」よく似たものにエフデノタイマツもあると言う。

ここは三人の万年少年が己々の思いを胸に雑木林を復活させようと民有地の放置林の保全活動をしている50アールほどの気持ちのよい林だ。

クズはきをした落葉は腐葉土にして農家に届け、循環型農業の復活継続に役立っている。ナラ枯れが危惧される陽樹コナラの苗木を、子どもたちと植樹して未来に緑の大切さを伝えてもいる(別の林で植樹に参加させていただいたが、子どもたちも生きる力をもらっていると感じた)。

四季の生き物と光景

初夏の林にはエノキが食草のテングチョウ、ヤマイロカニグモ、トウキョウヒメハンミョウ等多様な生物がいてシロテンハナムグリは交尾していた。

11月、ヤマグリを拾いに行くとサンコタケがあり、ツチイナゴがいた。直径20cmのアカメガシワを切ると空が広くなった。切った枝や木を入口の穴まで運ぶ。焼き芋、花炭作りの準備だ。

12月、焼き芋日和。樹脂を含むヒノキがパチパチと気持ちよい音を立てる。抜けるような青空にセンダンの白い鈴なりの実が光る。おき火で焼いたサツマイモはとてつもなく甘い。林の奥の巣の縁には、新女王蜂であろうか動きの鈍いキイロスズメバチが一匹いた。

楽しみながら自然を残していくこと

「大切なのは…」電話をくれた方が言った。「ここに来ればいろいろな生物に出

会え、一休みしていればエナガやシジウカラの混群にも会え、自然のよさを発見できる。緑の保全、緑の再生、そして緑の共生と言われているが、楽しみながら自然を残して行くことだよ。」その方の生物の写真は慈愛に満ちている。

そう言えば6月、林縁でコナラが食草のアカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミの3つのゼフィルスや、初夏の日差しを浴びて翅を開閉させて樹液を吸っている二頭のヒオドシチョウに出逢ったが、あれは私たちの居場所を作ってくれてありがとうと、伝えに来てくれたのかもしれないと思った。(藍谷理恵子)



鈴なりのセンダンの実の下で焼き芋



キツネノロウソク



ヒオドシチョウ

【理事長コラム(1)】未来に向けた「川越市環境基本計画」「川越市環境行動計画」へ



図「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」の項目とイメージをまとめたもの(筆者作成)

知っていますか? 「川越市環境基本計画」

「川越市環境基本計画」(1)は、川越市の環境行政の基本を定めた計画です。現行の第三次計画は、7年前の平成28年(2016年)3月に策定されたもので、「川越市緑の基本計画(平成28年3月改定版)」を包含しています。計画期間は10年間で、基準年度は平成28年度(2016年度)、目標年度は、3年後の令和7年度(2025年度)です。

本会の活動指針「川越市環境行動計画」

行政計画である「川越市環境基本計画」に対して、市民や事業者、民間団

体が川越市の環境に対してどのような行動をすべきかという観点で本会が川越市と協働で作成した計画が「川越市環境行動計画(平成29年2月改定)」(2)です。この計画は、最初に策定された平成20年(2008年)1月の計画では「かわごえアジェンダ21」という愛称も付けられていました。

「川越市の望ましい環境像」とは

川越市環境基本計画には望ましい環境像を「みんなでつくる、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」としています。これだとイメージしにくいので、川越市環境行動計画では、「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」を文章にまとめています(図)。「環境に配慮した行動(チェックシート)」

川越市環境行動計画には、望ましい環境像を実現するために、市民各々が実施すべき行動として40項目を4段階評価で得点化するチェックシートを掲載しています。3月は実施月間です。ぜひインターネットで回答をお願いします(3からGoogleフォームにアクセス)。

「見直し勉強会」等を立ち上げます

本会では、第二次・第三次計画の策定前に勉強会を開催して提言をまとめ、また環境行動計画の作成委員会を開催してきました。次期計画の策定まであと3年。そろそろ勉強会を立ち上げます。

川越市長は、令和3年5月1日に「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明しました。日本政府が宣言した「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル」を川越市でも実現しようと宣言したわけです。

川越市環境基本計画も川越市環境行動計画も、27年後の「2050年カーボンニュートラル」に向けて見直しが必要です。本会では、さまざまな形で関連企画を実施していきます。会員内外の参画、参加をお願いします。

(かわごえ環境ネット理事長 小瀬博之)



1



2



3

【参加者募集】春の里山 自然観察 & クリーン活動 (4月29日 土曜日開催)

# 春の里山 自然観察&クリーン活動

場所 (仮称) 川越市森林公園計画地  
参加者募集

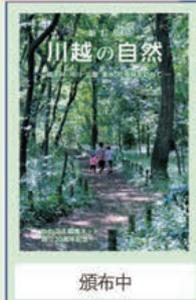
かわごえ環境ネットは里山保全やクリーン活動(年4回)などの環境保全活動を行っております。  
4月は(仮称)川越市森林公園計画地にて、春の里山 自然観察&クリーン活動を行います。  
川越に残された貴重な里山を保全し、里山の新緑を分かち合う活動です。  
多くの方のご参加をお待ちしております。



自然観察



活動の成果



頒布中

日時 4月29日(土) 9時30分

川越南文化会館(ジョイフル) エントランス前 集合

- 9時30分 集合 コース案内、ゴミ袋配布
- 9時45分 公園計画地の自然観察とクリーン活動
- 11時30分 ジョイフル集合場所で分別 参加証明書交付
- 12時 解散

参加申込 募集人員 先着30名 参加費無料

申し込み 4月3日(月) 午前10時から 電話で環境政策課に ☎049-224-5866

当日の連絡先 菊地 三生 携帯 080-5546-2362 メール kikums@beige.ocn.ne.jp  
賀登 環 携帯 080-1158-9673



公園計画地について

所在地 川越市大字砂新田・今福・下松原  
面積 約38万㎡ ※東京ドーム約8個分  
計画趣旨 川越市は2004年に「雑木林の自然と文化をみんなで育み伝える公園」として公有地化と整備開始



かわごえ環境ネット  
事務局 川越市環境部環境政策課  
☎049-224-5866 (直通)

かわごえ環境ネットは、春夏秋冬の年に4回のクリーン活動をしてまいりました。2023年度 最初の春のクリーン活動を行います。

活動場所は(仮称)川越市森林公園計画地です。この場所は、あまり市民に知られていない、生物多様性に富む貴重な里山です。

新緑の春の里山で、自然観察とクリーン活動を行います。多くの方の参加をお待ちしています。

実施概要

日時: 4月29日(土) 9:30-12:00

集合場所: 川越南文化会館(ジョイフル) エントランス前

募集人員: 先着30名

参加申込

4月3日(月) 10:00より川越市環境部環境政策課まで (Tel.049-224-5866)



2022年の自然観察 & クリーン活動の様子

## 会員向け情報 (会費納入のお願い、総会開催、会員向けメールサービス)

これらの情報の一部は新年度になってからの案内すべきものなのですが、隔月刊の広報のため、早めにお知らせします。会員には新年度になってからこれらの情報を今後郵送またはメールでお知らせする予定ですが、あらかじめご承知おきください。

2023年度会費納入のお願い

2023年度会費の納入をお願いします。年会費は、個人会員1,000円、団体会員(民間団体、事業所、川越市)は2,000円です。

4月1日(土) から5月26日(金) までにゆうちょ銀行の口座に振込くだ

さい[口座番号 00180-2-13880(ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行〇一九支店 当座 0013880)], 加入者名: かわごえ環境ネット]。振込方法によって手数料がかかります。

2023年度総会開催

2023年度総会を5月27日(土) 10:00-12:00に開催します。場所については別途ご案内します。

連絡方法が郵送のみの会員には、4月に会費納入の案内と出欠連絡用はがきを含めた情報を郵送でお送りします。また、メールサービスを提供している会員には、メールで振込先と出欠連絡用

フォームの情報をお送りします。

「2023年度総会議案書」については、広報紙を郵送している会員に本紙2023年5・6月号(No.191)と一緒に送付します。メールサービスを提供している会員には添付ファイルで送付します。

会員向けメールサービス申込受付



このQRコードをスマートフォンで読み取るとあて先、件名、本文の項目がメールに入ります。ぜひ申し込みください。

## 報告

### 理事会・事業運営委員会

#### 12月21日(水) 事業運営委員会・理事会

主な議題：①第21回かわごえ環境フォーラムの協賛企業訪問報告、キャスティングと午後の部のワークショップの検討、「かわごえ環境活動報告集」のフルカラー発行、②川越市環境審議会委員の推薦依頼、③歳末まち美化活動(12月18日)の報告、④環境講演会(12月11日)の報告、⑤森フェス in 川越 2022(11月19日)の報告

#### 1月18日(水) 事業運営委員会・理事会

主な議題：①第21回かわごえ環境フォーラムのキャスティング詳細確認、後援団体の謝礼、ちらしの印刷と配布(郵送会員への送付)、②第15期川越市環境審議会委員に増田知久副理事長を推薦、③2022年度事業報告と2023年度事業計画を3月理事会までに素案作成、4月理事会で最終審議、④次期

川越市環境基本計画の策定等に向けた本会の活動と運営の検討、⑤総会開催期日の決定(5月27日)、⑥会員募集パンフレットの改訂と印刷

(理事長 小瀬博之)

### 社会環境部会

#### 1月13日(金) 13:30-14:30

福田ビル3階で社会環境部会の例会を開催。参加者は7名(2月例会は中止)。

#### 協議事項

①2022 森フェス in 川越の活動報告、②環境講演会の実施報告とふりかえり、③歳末まち美化活動の報告、④地域環境対話活動について検討、⑤かわごえ環境フォーラムでの社会環境部会の発表方法について協議

(社会環境部会代表 増田知久)

### 自然環境部会

1月例会は11日(金)に12名参加、福

田ビル3階にて開催(2月例会は中止)

#### 1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動：1月9日(月)参加者19名 今年の計画を話し合い、1月23日(月)参加者17名 シュンランの森手入れ、②池辺公園定例活動：1月は休止、2月は浅羽ビオトープで探鳥、③生き物調査小委員会：1月26日(木)福原公民館 8名参加

#### 2. 協議事項

今年度の振り返りと来年度の計画を話し合った。昨年は定例活動が30回以上、イベント・観察会が7件、生き物調査は8回と多くの活動が展開された。次年度は継続していくものと、さらに深化させていくものについて話し合った。

(自然環境部会代表 賀登環)

## 予告・募集

### 会合

#### ●社会環境部会(第2金曜日)日時：

①3月10日・②4月14日(金) 13:30-14:30

#### ●自然環境部会(第2金曜日)日時：

①3月10日・②4月14日(金) 14:30-16:00

#### ◆事業運営委員会 日時：③3月15日・

④4月19日(水) 9:00-10:00

#### ◆理事会 日時：③3月15日・④4月

19日(水) 10:00-11:30

#### ◆広報委員会 日時：⑤3月8日・⑥4

月5日(水) 9:00-9:30

会場：①川越市役所地階修養室(川越市元町1-3-1)、②③④川越市役所3階3A会議室、⑤⑥オンライン(URLは委員に別途案内)

\*①②は会員が自由に参加できます。

### 自然環境部会の活動

#### ★A「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動(毎月第2・第

4月曜日)日時：3月13・27日、4月10・24日・5月8・22日(月) 9:30-12:30  
集合：川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

★B池辺公園定例活動(毎月第2火曜日)日時：3月14日・4月11日・5月9日(火) 9:30-12:00 場所：池辺公園(川越市池辺1302)

A Bの問い合わせ先：賀登(Tel.049-234-9366)

★C生き物観察会「かわごえの植物をたずねて」日時：3月25日(土) 9:30-12:00、場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地、講師：牧野彰吾氏 環境政策課と共催 生き物調査のまとめと林内の観察会

Cの申込先：3月1日(水) 10:00から環境政策課(Tel.049-224-5866)

### 広報委員会

#### 2023年5・6月号(No.191, 5月1日発行)

#### 原稿募集(会員対象)

提出期限：4月8日(土)

提出方法：原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。

メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

#### 表紙「残したい川越の風景」随時募集

各号の季節にあった表紙にふさわしい写真(自身で撮影した高解像度写真、できれば縦構図のもの)、200字以内の短文、タイトルを広報委員会メールアドレスまで送付ください。広報委員会で掲載投稿を決定します。選外の投稿は「note」に掲載できません。

#### かわごえ環境ネット「ホームページ」「note」への投稿

会員であれば随時対応します。広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)までお問い合わせください。

#### インターネットアクセス(QRコード)



ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



note

## NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

### 近況報告

1月15日(日) マコモ葉の野焼きを兼ねてどんど焼きを行いました。昔ながらの繭玉かざりや焼き芋で子どもたちは貴重な体験をして楽しみました。



野焼きを兼ねたどんど焼き



繭玉かざり

**Facebook** <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

**HP** <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

## 川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

1月11日(水)は「リョウブの森」のヒサカキなどの照葉樹をかなり片づけました。

### 予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地

「リョウブの森」の手入れ 3月8日(水) 8:30-12:00 集合：川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを行っています。奇数月の第2水曜日が活動日です。



手前はすっきりしました

## こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532), <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>



初心者の学生には太さ 20cm ほどの木の伐倒を体験してもらっています(12月17日の活動)



ヒノキの枯損木の伐倒(樹高は約18m)  
(1月21日の活動)



2015年3月に元グラウンドを植樹したこもれびの森「自然再生エリア」。そろそろ8年が経過する。(1月18日撮影)

### 報告

川越キャンパスでも「ナラ枯れ」が目立ってきています。「こもれびの森」も大きく様相が変わりつつあります。引き続き

非公開で活動を継続していますが、公開になった場合は大学ホームページでご案内します。

## 公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

### 予告

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合：10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのおずまや、持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物、参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円(保険代・資料代)

① 3月12日(日) 10:10-12:00 北の国へ帰る冬鳥たちの最後の姿をみんなで観察しましょう。

② 4月9日(日) 10:10-12:00 水を溜めた沼に鳥たちは戻ってきているでしょうか。魚や植物は変わりないでしょうか。春の生き物の活動を観察します。

## 個人会員からのお知らせ

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

### 予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場：高階南公民館(川越市藤原町23-7)、参加費：無料。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。知って、その後を豊かに楽しみましょう。1人でも多く動いたら減災・防災につながります。

① 3月2日(木) 13:30-15:00(会議室1号)「プラスチック製品の使用の仕方や廃棄について」家庭でプラスチック製品を使用することについて健康・環境面から考えてみよう。

② 4月24日(月) 10:00-11:30(コミュニティスペース)「お金のかからないすぐできる電気の使用量を減らす知恵」暑くなる前に、暑さ対策と健康のためにできることを準備しよう。持ち物：直近2~3か月分の光熱水費料金票

### 6-8 ページの記号凡例

★：本会主催・後援等一般公開行事 ●：本会会員対象行事 ◆：本会理事・委員対象会合 ◎：本会会員等主催のイベント等 ○：その他(個別記事参照)

2023年3月

1 水 ○ 10:00「かわごえの植物をたずねて」申込開始
2 木 ◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
3 金
4 土
5 日
6 月
7 火
8 水 ◎ 8:30「(仮称)川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ ◆ 9:00 広報委員会
9 木
10 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
11 土
12 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
13 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
14 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動
15 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
16 木
17 金
18 土
19 日
20 月
21 火 春分の日
22 水
23 木
24 金
25 土 ★ 9:30 生き物観察会「かわごえの植物をたずねて」
26 日
27 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
28 火
29 水
30 木
31 金

2023年4月

1 土
2 日
3 月 ○ 10:00「春の里山 自然観察 & クリーン活動」申込開始
4 火
5 水 ◆ 9:00 広報委員会
6 木
7 金
8 土 ○ 本紙 2023年5・6月号 (No.191) 原稿投稿期限
9 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
10 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
11 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動
12 水
13 木
14 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
15 土
16 日
17 月
18 火
19 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
20 木
21 金
22 土
23 日
24 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
25 火
26 水
27 木
28 金
29 土 昭和の日 ★ 9:30 春の里山 自然観察 & クリーン活動
30 日

かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、個人会員、団体会員を随時募集しています。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。1月から3月に入会した場合、3月までの会費は免除となります。この機会にぜひご入会ください。

会員特典

- 1本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・電子メールでお届け、
- 2本紙及び本会インターネットへの記事の掲載、チラシの同封、
- 3本会主催の事業への優先参加、
- 4総会、専門委員会活動への参加

詳細

かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)に問い合わせるかWebサイト(<https://kawagoekankyo.net>)をご覧ください。



入会案内

ボタニカルアート(3) キンラン(金蘭)



春たけなわのころに咲くキンラン(金蘭)は、同じラン科のギンラン、ノヤマトンボと同様、林の樹木と担子菌と共生して、林の中でしか生育できません。美しいゆえに採っていく人が後を絶たず、日本各地で数を減らし、絶滅危惧IB類(EN)になってしまいました。ところが「(仮称)川越市森林公園」計画地では現在もあちらこちらで見られます。この「里山小町」をいつまでも愛でたいと願っています。(岡治)

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。